

## 第40回 山形県ジュニア大会 審判・監督会議資料

### 1. 遵守事項

#### (1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。
- ②本大会は「山形県空手道連盟 感染拡大防止ガイドライン」に沿って運用し、実施要項別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」を承諾したうえで参加すること。
- ③新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策として、本大会は入場制限を行う。
- ④全参加者及び該当者は別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」に記載されている書類及び施設提出用の名簿を全員が提出すること。
- ⑤審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。  
当日朝に、審判・監督は出欠確認と諸注意と連絡事項の伝達のみ、監督は各コートで棄権する選手を報告すること。
- ⑥開会式、閉会式は密を避けるため実施せず、競技の開始は審判長の開始の発声のみにする。表彰は競技終了後に所属長か代表監督へ配布するので必ず受け取ってから帰ること。(前回大会同様)
- ⑦整列する際は1m以上離れて並んでください。
- ⑧ゴミは各自お持ち帰りください。(会場内にゴミ箱はありません)
- ⑥会場内はマスク(不織布)着用のこと。飲食禁止、但し水分補給は可。  
\* 役員・審判の昼食会場は会議室 別紙参照のこと
- ⑦会場内への入退時は備え付けの消毒液で手指の消毒をし、参加者全員が感染拡大防止に努め競技間に行う換気等に協力すること。

#### (2) 審判員 ※熱中症予防の観点からノーブレザー&ノーネクタイとする。

- ①マスク(不織布)、フェイスシールド、手袋を装着して審判を行うこと。  
マスク(不織布)、フェイスシールドは各自準備すること。(主催者では準備しない)
- ②笛は使用せず、電子ホイッスルを使用する。判定時の合図は監査が行う。
- ③形競技において、感染予防のため審判員席は所定の位置より1m離れた場所に設定する。
- ④競技中、指定された席を必要以上に離れないこと。
- ⑤審判シューズは土足厳禁とする。

#### (3) 選手 ※選手は会場内で道着着用のこと。

- ①コートへの入退場時、整列時はマスク(不織布)を着用し、隣の選手及び前の選手との距離は1m以上間隔を空けて整列すること。
- ②形名の呼称や気合い等を発声する際は、大声での過度な発声を禁止する。
- ③組手競技においてメンフォー用口元シールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。
- ④選手同士及び監督との握手、ハイタッチ、ハグ、出迎え、送り出しは行わないこと。

安全具やタオル等の使い回しを禁止する。赤帯青帯を用意できない小学１・２年生（園児含む）のみへ貸出すが大会当日は同一の赤青帯を使用し使用後は所定の場所へ返却すること。今後は貸出しができない場合もあるので、感染拡大防止の観点から可能な限り個人で用意すること。３年生以上は各自で準備すること。

※入場者申請書兼申請書提出時に申告すること（事前予約制）

- ⑤更衣室はクラスターになるリスクが高いと言われており、今後施設と協議し感染防止のための人員確保と開催時の感染拡大の状況で判断する。

5/6 時点では確保できていないが、女子更衣室のみ確保できるよう今後調整する。

男子の更衣は会場等にて周囲に配慮して行うこと。

ロッカー、シャワーは利用不可とする。

ヘアセットは入場前に行うこと（更衣室内は飲食禁止）。

#### （４）監督 IDカードを貸与するので見える位置へ表示すること（要返却）

- ①監督はあらかじめ届出があった者（４名以内）とし、今大会は施設の収容人数の関係で以下の通りに監督人数を制限する。

参加実数 1～7 名	監督 1 名
参加実数 8～14 名	監督 2 名以内
参加実数 15～21 名	監督 3 名以内
参加実数 22 名以上	監督 4 名以内

※参加実数とは選手数である。（同一選手が形・組手に出場しても１名）

※役員・審判員と兼ねることはできない。（未成年者は認めない）

※大会当日朝に「体育館及び観覧席の使用方法和一般入場者の管理方法」の説明とプログラム及びIDカード等の配布を行うので各団体代表監督（１名）は「代表監督説明会」へ出席すること。（集合場所及び時間は後日所属長へ連絡）

尚、「代表監督説明会」に出席しない団体にはプログラム及び入場に必要のIDカード等を配布しないので必ず出席すること。

\* 参加者の都合に配慮し時間や試合区分等での監督変更は個別に対応するので入場管理担当（安達智也）へ連絡すること。タイムテーブル確定後に受付するが、事務局で交代の「必要がない」と判断した場合、交代は認めない。

「代表監督説明会」へ出席した代表監督には、所属選手へ定められた提出物や入場方法を守っていただく必要がある為、代表監督（１名）の交代は認めない。代表監督は大会中、責任をもって選手と一般入場者の管理及びチェックシート提出、貸与物の返却をしてから帰ること。

\* 大会中とは7/3 朝に行う代表監督説明会から所属している最後の選手が競技会場から退場し、提出物を出し貸与物をすべて返却するまでのこと。

- ②監督席では、大声での過度な発声を禁止する。また審判員と同じ姿勢で着席し、競技運営の支障になるような行為はしないよう所属長は責任をもって指導すること。
- ③監督は空手着を着用しなくてもよいが、監督としてふさわしい服装をすること。また、県連指定の腕章を装着しIDカードをみえるところへ掲示すること。

I Dカードの不正利用があった場合は当該選手だけでなく全選手の出場を認めない。

- ④会場へ入場する監督の人数は選手数を超えてはならない。

例) 選手1名入場しているなら監督も1名。

選手1人に四方からの4人監督等は禁止。

団体戦等において3人監督も禁止。(団体戦は1チームに監督1名厳守)

- ⑤監督は大会が円滑に進行するよう、所属団体の選手に取決め事項やマナー等を遵守するよう指導・管理すること。

(5) 一般入場者 ※リストバンドを付与するので見える位置へ表示すること。

- ①選手1名につき保護者1名とし、応援は拍手のみとする。(ビデオ撮影可)

高校生以下は成人が引率すること。

- ②大会役員が選手(家族)の送迎を行う場合、該当者の時間外入場を認める。

\* 大会協力することで本人や家族が不利益や不都合の無いよう配慮する。(選手のみ)

- ③案内の通り事前に提出した参加者名簿に記載された方のみ入場可能とする。

**\* 厳しい状況下での大会開催にご理解いただいたうえで、定められた時間通りに入場していただきますようにご協力お願いいたします。**

- ④今後の感染状況や、施設との打ち合わせで変更が生じた場合は直ちに所属長へ連絡する。

※リストバンドは自宅で処分すること

※各団体、色と番号で管理しており所定の入場者人数分しか用意していません。不正に入場するとリストバンドが不足し入場できません。

## 2. 競技について(実施要項記載以外)

### (1) 形競技

- ①得意形以外は全て2人制で行う。

- ②2人制では時間短縮のため斜め入りとし、コートのコーナー部からの入退場時の礼は行わない。

- ③連続して試合を行う場合のインターバルは1分間とし、赤と青が入れ替わる場合は帯を交換してから1分間とする。

- ④演武するときはマスク着用の義務はない

- ⑤形の発声は行うが過度な発声や気合を禁止する。呼称と異なった形を演武した場合は競技規定に則り規定違反とする。

### (2) 組手競技について

- ①10カウントルールは採用しない。

- ②メンフォー用口元シールドを装着することを義務付ける。

- ③連続して試合を行う場合のインターバルは試合時間と同時間とし、赤と青が入れ替わる場合は防具等を交換してから計測する。

- ④防具等の不備があった場合は競技規定に則り規定違反とする。

### (3) 審判員実施事項

#### ①競技規定第8条 禁止行為（不活動について）

得点、又は先取でリードしている選手に不活動を与えることはできない。

#### ②競技規定第9条 ウォーニング及びペナルティ（ルールブック付録2）

競技を中断することなく競技の続行と競技を分ける合図を導入する。

・「つづけて」と「不活動」は15秒未満で使用することができない。

・「わかれて一つづけて」は競技開始から終了までの間、使用することができる。

#### ③組手競技において、マウスシールドが外れた場合は直ちに主審が「止め」をかけ、付け直させてから再開すること。

#### ④審判員は同じ団体に所属する選手の審判はできない。但し、審判員に不足が生じ場合は、審判長又はコート長（TM）の判断により、審判団に編成することがある。

### 3. 異議申し立て

競技規定組手競技第11条並びに形競技第7条について、本大会では以下のとおり申し合わせる。

#### ① 判定について審判団に異議申し立てはできない。

#### ② 審判の手続きに規定違反があった場合、監督は拳手のうえ口頭でコート主任に異議を申し立てること。

#### ③ 異議申し立ては、手続き違反があった時に即行うこととし、次の試合に入った場合は受け付けない。

### 4. 質疑について

#### (1) 大会当日は開会式、閉会式、審判会議、監督会議を実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へメールで送付すること。後日、必要があれば全ての団体へ質疑内容とその回答を通達する。

尚、「大会要項」「よくある質問」「審判・監督会議資料」やメール等で所属長へ直接周知済みのこと及びルールブックに掲載してあることや、参加保護者からの直接の問い合わせは事務局で回答しないので、必ず団体責任者を通すこと。

諸般の事情で、団体責任者以外が直接問い合わせる場合は、まず、関係文書を読み（メール含む）、内容について団体責任者の了承を得てから問い合わせること。

回答についても所属長へ報告すること。

#### (2) 質疑申込書の提出について

【期 限】 令和4年6月17日（金）期限厳守

【提出先】 [tomo.adc@d3.dion.ne.jp](mailto:tomo.adc@d3.dion.ne.jp) 安達智也

メールには件名、連絡先や団体名を書いて送信し、2～3日たっても連絡のない場合はメールアドレスと件名や問い合わせの内容を確認して再度送信すること。